

一般質問

ズバリ 市政を問う

本定例会での一般質問は、3月7日から8日までの2日間で行われ、9人の議員が質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。
掲載は質問順としています。

行財政健全化を図る 目的は

答 次世代に負担を先送りせず健全化する
ことは責務



田中 親彦 議員

問 単年度収支が4年連続赤字の原因は、新規事業の着手時期問題など、原因は明確である。

いま、行財政健全化を急ぐのは、庁舎建替えが前提の財源づくりではないかと考える。

行財政健全化の目的や内容を市民に説明する必要があるのではないか。

市長 ここ10年で約23億円の扶助費増や施設の維持管理費用の増加など、経費が増大している。

今日、人口減少も避けられず、税収増も厳しい状況である。次世代に負

担を先送りしないためにも行財政健全化に取り組む必要がある。

問 健全化策を見ると、歳出抑制が優先されている。経常経費3億円削減は、市民に関する事業の縮小ではないのか。

市長 財政健全化を図る中で事業を展開し、市民には財政状況を理解してもらい、サービスを削らない策を重点に据える。

問 収入面の対策では、時限措置である企業版ふるさと納税に早く取り組む必要があるのではない

市長 財政健全化策の一手段として検討はできる。ただ、寄附終了後の継続費用の負担も検討する必要がある。

企業版ふるさと納税で収入増を

企業版ふるさと納税への取り組みを (内閣府ホームページより)